

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部情報教育センター数理・データサイエンス・AI教育プログラム  
2025年度 自己点検・評価報告書

2026年3月31日

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部情報教育センター数理・データサイエンス・AI教育プログラム専門部会

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等																												
学内からの視点																													
プログラムの履修・修得状況	<p>学習管理システムである「UNIVERSAL PASSPORT」を活用して、受講者ごとの出席状況・課題進捗状況の管理（講義資料および課題の公開、授業改善アンケートの実施など）を、関係教員間で共有しつつ行った。</p> <p>履修状況として、履修者数は以下のとおりである。修得状況は「学修成果」の項で述べる。</p> <p><b>【情報リテラシーII】</b></p> <table border="0"> <tr><td>現代人間学科</td><td>36名</td></tr> <tr><td>健康スポーツ学科</td><td>48名</td></tr> <tr><td>看護学科</td><td>64名</td></tr> </table> <p><b>【IT基礎講座】</b></p> <table border="0"> <tr><td>現代人間学科</td><td>35名</td></tr> <tr><td>健康スポーツ学科</td><td>11名</td></tr> <tr><td>看護学科</td><td>0名</td></tr> </table> <p>本項目の自己点検の結果、IT基礎講座の履修をよりいっそう全学的に、なおかつ看護学科において重点的に促進する必要があると言える。</p>	現代人間学科	36名	健康スポーツ学科	48名	看護学科	64名	現代人間学科	35名	健康スポーツ学科	11名	看護学科	0名																
現代人間学科	36名																												
健康スポーツ学科	48名																												
看護学科	64名																												
現代人間学科	35名																												
健康スポーツ学科	11名																												
看護学科	0名																												
学修成果	<p>情報リテラシーIIおよび、IT基礎講座における学修成果として、単位認定者数は以下のとおりである。</p> <p><b>【情報リテラシーII】</b></p> <table border="0"> <tr><td>現代人間学科</td><td>33名</td></tr> <tr><td>健康スポーツ学科</td><td>43名</td></tr> <tr><td>看護学科</td><td>63名</td></tr> </table> <p><b>【IT基礎講座】</b></p> <table border="0"> <tr><td>現代人間学科</td><td>24名</td></tr> <tr><td>健康スポーツ学科</td><td>10名</td></tr> <tr><td>看護学科</td><td>0名</td></tr> </table> <p>本項目の自己点検の結果、IT基礎講座において、学生が受講や課題に取り組み続けるよう促進する必要があると言える。</p>	現代人間学科	33名	健康スポーツ学科	43名	看護学科	63名	現代人間学科	24名	健康スポーツ学科	10名	看護学科	0名																
現代人間学科	33名																												
健康スポーツ学科	43名																												
看護学科	63名																												
現代人間学科	24名																												
健康スポーツ学科	10名																												
看護学科	0名																												
学生アンケート等を通じた学生の 内容の理解度	<p>授業改善アンケートを実施した結果、情報リテラシーIIおよびIT基礎講座それぞれへの理解度および満足度については以下のとおりである。なお、理解度については、授業改善アンケートの理解度に関する複数項目（5件法。点数が高い方がよく理解できたことを示す）の平均得点とした。満足度については、授業改善アンケートの満足度に関する項目（5件法。点数が高い方が満足できたことを示す）の平均得点とした。</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th><b>【情報リテラシーII】</b></th> <th>回答者数</th> <th>理解度平均値</th> <th>満足度平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>現代人間学科</td><td>27名</td><td>4.7</td><td>4.7</td></tr> <tr><td>健康スポーツ学科</td><td>42名</td><td>4.5</td><td>4.5</td></tr> <tr><td>看護学科</td><td>57名</td><td>4.7</td><td>4.7</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【IT基礎講座】</b></p> <table border="0"> <tr><td>現代人間学科</td><td>19名</td><td>4.5</td><td>4.5</td></tr> <tr><td>健康スポーツ学科</td><td>8名</td><td>4.3</td><td>3.9</td></tr> <tr><td>看護学科</td><td>0名</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>本項目の自己点検の結果、情報リテラシーIIにおいては理解度、満足度ともに高いという結果が得られ、引き続き充実した授業の形態を保つ必要があると言える。IT基礎講座においては、健康スポーツ学科において満足度がやや低いため、当該学科に関連する学問分野としての見せ方がよりいっそう必要であると考えられる。</p>	<b>【情報リテラシーII】</b>	回答者数	理解度平均値	満足度平均値	現代人間学科	27名	4.7	4.7	健康スポーツ学科	42名	4.5	4.5	看護学科	57名	4.7	4.7	現代人間学科	19名	4.5	4.5	健康スポーツ学科	8名	4.3	3.9	看護学科	0名	—	—
<b>【情報リテラシーII】</b>	回答者数	理解度平均値	満足度平均値																										
現代人間学科	27名	4.7	4.7																										
健康スポーツ学科	42名	4.5	4.5																										
看護学科	57名	4.7	4.7																										
現代人間学科	19名	4.5	4.5																										
健康スポーツ学科	8名	4.3	3.9																										
看護学科	0名	—	—																										

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等						
学生アンケート等を通じた後輩等 他の学生への推奨度	<p>必修科目ではないIT基礎講座においては、他学生への推奨度を訪ねるアンケートを実施した。なお、項目は「「IT基礎講座」を後輩にどのくらいおすすめしたいか、当てはまるものを選んでください。」（5件法。点数が高い方が推奨度が高いことを示す）であり、その結果は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="787 430 1323 519"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答者数</th> <th>推奨度平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IT基礎講座</td> <td>17名</td> <td>4.41</td> </tr> </tbody> </table> <p>本項目の自己点検の結果、推奨度は十分に高い値を示しているが、回答者数の増加を図る必要があると言える。</p>		回答者数	推奨度平均値	IT基礎講座	17名	4.41
	回答者数	推奨度平均値					
IT基礎講座	17名	4.41					

自己点検・評価の視点		自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等					
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>情報リテラシーIIおよびIT基礎講座の単位認定を受け、本教育プログラムの認定を受けることが可能になった学生は、以下のとおりである。</p> <p>【認定可能学生数】</p> <table border="0"> <tr> <td>現代人間学科</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>健康スポーツ学科</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>看護学科</td> <td>0名</td> </tr> </table> <p>本項目の自己点検の結果、必修科目ではないIT基礎講座の受講をより促すため、履修ガイダンスや本学ホームページ上での周知を徹底することが必要であると言える。</p>	現代人間学科	24名	健康スポーツ学科	10名	看護学科	0名
現代人間学科	24名						
健康スポーツ学科	10名						
看護学科	0名						
学外からの視点							
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	2029年度まで本教育プログラムを修了した卒業生はいない。今後の評価にむけて、その体制を検討している。						
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	<p>IT基礎講座に対してご協力いただいている愛媛県内の数理・データサイエンス・AIに関連企業の外部講師や、愛媛県庁の産業人材に関する部署の職員と、適宜意見交換の場を設けた。</p> <p>本学においては、特に一般企業においてIT技術を活用して生産性の効率化を図れる人材を輩出し、DXのすそ野を広げることで地域に貢献することを重視する方針が大切であることを共有してきた。そのためのプログラムの改善を検討し、各授業回に反映させた。</p>						
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	<p>情報リテラシーIIにおいては、グループでのデータ分析・プレゼンテーションの実施といった、学生同士の相互交流などの学ぶ楽しさを感じ得る方法を取り入れた。</p> <p>IT基礎講座においては、現代社会における数理・データサイエンス・AI技術を学ぶ意義が伝わるように、関連した実務に携わる企業の方による最先端の実践や、社会情勢について解説いただく方法を取り入れた。</p> <p>その結果、情報リテラシーIIにおいては「パソコンの作業を一緒にするという授業は1人で作業をこなすよりも良いと思いました」といった声や、IT基礎講座においては「様々な分野からの話が聞けたのでためになり、受講していて楽しかったです」といった声が授業改善アンケートなどから得られた。上記「学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度」にある満足度の得点も高い値を示した。</p> <p>したがって、本項目の自己点検の結果、おおむね「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を学生が得ていると考えられる。</p>						
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>各年度の授業実施前に科目担当教員や授業に関わる学外の協力者との打ち合わせを通じて、最新の社会状況の把握に努め、教育内容に反映させてきた。</p> <p>その結果、情報リテラシーIIにおいては「パソコン操作が苦手ですが、分からない部分も丁寧にスライドで知ることかできたのでスムーズに作業を行うことができました」といった声や、IT基礎講座においては「現在の日本の状況やこれからの日本に求められていることを丁寧に説明して下さりとても良かった」といった声が授業改善アンケートなどから得られた。上記「学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度」にある通り、理解度の得点も高い値を示した。</p> <p>したがって、本項目の自己点検の結果、おおむね内容や水準を維持しつつ、分かりやすい授業を提供できたと考えられる。</p>						